

NPO法人頸城野郷土資料室併設
くびき野カレッジ天地びと
講師別講座タイトル一覧 (50音順)
—第1期～第22期 (2010年～2021年) —

青木俊秀 (上越市大潟区専念寺住職)

- ① 棟方志功との交流 (平成 23 後)

阿部葉子 (紙芝居弁士)

- ① 紙芝居で民話などいかが? (平成 26 後)
- ② 紙芝居の種類と演じ方 (平成 27 前)
- ③ 紙芝居の演じ方 2～演じるを楽しもう! (平成 27 後)
- ④ 紙芝居で伝えたい: 日本の文化とところ (平成 28 前)
- ⑤ 紙芝居の演じ方 2～「語り」が物語を動かす～ (平成 28 後)

天野和彦 (上越教育大学)

- ① 上越の大地の生い立ちと地下資源 (平成 25 後)

安楽 大 (NPO 結縁)

- ① 要介護者、認知症当事者を取り巻く状況と社会参加活動について (2021 前)

飯倉幸雄 (透かし彫り職人)

- ① 糸・鋸・人生—終わりになき挑戦 (平成 25 後)

飯塚むつこ (カラーラボ Mu)

- ① 色で心もからだも元気に (平成 24 前)

五十嵐博 (石積職人)

- ① 石とくらし (平成 23 後)

石川伊織 (新潟県立大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員)

- ① 鉄道と近代のくびき野 1 (平成 22 後)
- ② 鉄道と近代のくびき野 2 (平成 23 前)
- ③ 鉄道と近代のくびき野 鉄道の思想 (平成 23 後)
- ④ 鉄道と近代のくびき野 鉄道は文学をどう運んだか (平成 24 前)
- ⑤ 鉄道は文学をどう運んだか—ボート・トレインと大陸 (平成 24 後)

- ⑥ 大正時代の旅・汽車と宿（平成 25 前）
- ⑦ くびき野を世界史の中に位置づける（平成 25 後）
- ⑧ 自由民権運動と信越線（平成 26 後）
- ⑨ 鉄道敷設法と頸城の幻の鉄道（1）（平成 27 後）
- ⑩ 鉄道敷設法と頸城の幻の鉄道（2）（平成 28 後）
- ⑪ 鉄道敷設法と頸城の幻の鉄道（3）（平成 29 前）
- ⑫ くびき野と鉄道—頸城鉄道（平成 29 後）
- ⑬ 信越線の長距離列車（平成 30 前）
- ⑭ 19 世紀初頭のヨーロッパにおける革命と戦争と芸術（その 1）王侯のコレクション・教会の美術品・個人のコレクションから国民国家の財産としての近代的美術館へ（平成 30 後）
- ⑮ 19 世紀初頭のヨーロッパにおける革命と戦争と芸術（その 2）ドレスデンの絵画館—ナポレオンとナチスとドレスデン大空襲を生き延びた作品群—（2019 前）
- ⑯ 峠を越える鉄道—信越線のスイッチバック・常設線のループ（2020 前）
- ⑰ 19 世紀初頭のヨーロッパにおける革命と戦争と芸術（其の 3）マリア・テレジアとハプスブルク王室絵画館（2020 後）
- ⑱ 碓氷峠の信越線（2021 前）

石田千枝子（バタバタ茶の会会長）

- ① バタバタ茶について（平成 27 後）

石田 徹（もと高校教師）

- ① 全国の巨木を訪ねて(1)（平成 28 前）
- ② 全国の巨木を訪ねて(2)（平成 28 後）

石塚（ますや）正英（NPO 法人頸城野郷土資料室理事長）

- ① くびき野ストーン（平成 22 後）
- ② 川上善兵衛の放射道路（平成 22 後）
- ③ くびき野の精神・風土（平成 22 後）
- ④ 愛の風と風の神（平成 23 前）
- ⑤ 石垣の上の高田城（平成 23 後）
- ⑥ 吉川区大乘寺址に残るラントウは黙して語る（平成 24 前）
- ⑦ 塔とツリーの民俗史（平成 24 前）
- ⑧ 白雪姫の内臓が食べたい！（平成 24 前）
- ⑨ 道祖神の信仰と民俗（平成 24 後）
- ⑩ 郷土史のトリビア—ソウルに残る日帝時代の歴史的建造物（平成 25 前）

- ⑪ 郷土史のトリビア—韓国民俗村(ハングク・ミンソクチョン) (平成 25 前)
- ⑫ 韓国とくびき野の文化交流—弥勒菩薩半跏思惟像 (平成 25 前)
- ⑬ 岡倉天心「アジアは一つ」の意味 (平成 25 前)
- ⑭ 鳥居龍蔵と巨石文化—鳥居さんのドルメン (平成 26 後)
- ⑮ 新幹線でくびき野を活性化するぞ (平成 27 前)
- ⑯ 遊戯のおもしろ歴史—サイコロ・花札等 (平成 27 後)
- ⑰ 最新の韓国文化紀行 (平成 28 前)
- ⑱ かわさき船とくびき文化 (平成 28 前)
- ⑲ 神話・伝説における「見るな、覗くな」 (平成 28 後)
- ⑳ 小川未明の愛郷心 (平成 29 前)
- ㉑ 大工職人の雁木通り史 (平成 29 前)
- ㉒ 近代地域文化としてのバテンレース (平成 29 前)
- ㉓ 越後から信濃・上野へ遡上する古代朝鮮文化 (平成 29 後)
- ㉔ 南方と柳田を魅了したフレイザー：フレイザー『金枝篇』を読む① (平成 30 前)
- ㉕ 自転車という技術文化 (平成 30 前)
- ㉖ 神話・伝説における「見るな覗くな」のタブー (2019 前)
- ㉗ 呪術の意味・呪術と科学・自然を制御する呪術：フレイザー『金枝篇』を読む② (2019 前)
- ㉘ 古代越後にとって高句麗は敵か味方か：ヤマトの前方後円墳 vs 高句麗移民の積石塚古墳 (2019 後)
- ㉙ 肉体の危機は靈魂の危機・開放原理としてのタブー：フレイザー『金枝篇』を読む③ (2019 後)
- ㉚ 大嘗祭研究をめぐる柳田と折口の差異—フレイザー『金枝篇』を読む④ (2020 前)
- ㉛ 大正天皇の銀婚式 (2020 後)
- ㉜ ヤップ島に残る巨大な円形石—フレイザー『金枝篇』を読む⑤ (2021 前)
- ㉝ 祭りの端緒と祀る意味 (2021 前)
- ㉞ 誰よりも人型ロボットを愛す (2021 前)

石平昇一 (農業経営)

- ① 米を作る (平成 22 後)

磯田一裕 (ライオン像の建物をまちづくりに活かす会)

- ① 旅情のまち・日本海・直江津 (平成 23 後)

五百川裕 (上越教育大学教員)

- ① くびき野の自然—植物を主として (平成 23 前)

岩片克己（宮司）

- ① 桑取谷の里神楽（平成 29 前）

岩田 武（旧高田藩和親会会長）

- ① 旧高田藩和親会の歴史と伝統（平成 26 後）

岩野 学（上越市公文書センター）

- ① 近世農村の人々の暮らし（平成 27 前）
- ② 近世農村の人々の暮らし（2）（平成 27 後）

植木 宏（高田開府四百年祭実行委員会委員長）

- ① くびき野の中世—山城を中心に（平成 22 後）
- ② くびき野の中世—上杉氏と越後（平成 23 前）
- ③ 歴史の楽しみ方—勝山城跡（平成 23 後）
- ④ くびき野の中世—南北朝時代（平成 24 前）
- ⑤ 山城の見方—柿崎区の山城を中心に（平成 24 後）

上原みゆき（「上越市民の歌」最優秀賞受賞者）

- ① 雁木に輝く、人への思い（平成 26 前）

宇賀田幸子（上越発酵食品研究会）

- ① バイオテクノロジーと坂口謹一郎（平成 24 後）

宇賀田正臣（草木染め工房つばめのうた）

- ① 草木染めと身近な染料植物（平成 26 前）

牛木幸一

- ① 鉄道の街直江津（直江津の街の形）（2019 後）
- ② 鉄道の街直江津—その歴史と鉄道遺産（2020 後）

江塚友之（設計事務所経営）

- ① 我が家の神様「代牛水」（平成 24 前）

大場厚順（もと高校教員）

- ① 高田藩と真宗教団（平成 22 後）

小川善司（きものの小川）

- ① 町家の生活（平成 22 後）
- ② 高田瞽女物語（平成 23 前）
- ③ 「風水」でみる城下町高田（平成 24 前）
- ④ あなたも今日から観光ガイド！—高田開府 400 年と高田瞽女（平成 25 後）
- ⑤ 高田瞽女 [ひと間の美術館]（平成 26 後）
- ⑥ 高田瞽女 [難波コトミさん]（平成 27 後）

小川英子（児童文学作家）

- ① 糸魚川のまちづくり（平成 27 後）

小関哲也（五智公園を育てる会）

- ① 舎密学の人—丸澤常也の生涯と生き方（平成 25 前）

風間直人（もとカザマスキー）

- ① スキーをつくる（平成 22 後）

春日良樹（上越市立小学校教諭）

- ① くびき野の自然—哺乳類（平成 24 後）

勝山一義（もと県立高校教諭）

- ① 関根萬司は「坊っちゃん」のモデル（平成 24 前）
- ② 小説『坊ちゃん』と上越市の関わり（平成 26 前）

金津光雄（桶職人）

- ① 桶屋職人の仕事について（平成 29 前）

金子潤次（北国街道の手をつなぐ会会長）

- ③ 制定 400 年の北国街道（平成 23 後）
- ④ 北国街道を訪ねる（平成 26 後）

金子善八郎（糸魚川市文化財保護審議会会長）

- ① 相馬御風と高田（平成 28 前）

唐澤太輔（NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員）

- ① 「裏日本」文化論 1—「裏日本」とは？（平成 22 後）
- ② 「裏日本」文化論 2—白の宗教と黒の宗教（平成 23 前）
- ③ 「裏日本」文化論 3—秦氏を中心に（平成 23 後）
- ④ 「裏日本」文化論 4—殺牛馬の習俗（平成 24 前）
- ⑤ 「裏日本」文化論 5—スサノオノミコトの起源を中心に（平成 24 後）
- ⑥ 「裏日本」文化論 6—渤海と舞楽（平成 27 前）
- ⑦ 「裏日本」文化論 7—十一面観音—（平成 28 前）
- ⑧ 「裏日本」文化論 8—十一面観音信仰からヤマタノオロチ伝説へ—（平成 28 後）
- ⑨ 「裏日本」文化論 9—媽祖信仰と日本海（平成 29 前）
- ⑩ 「裏日本」文化論 10—媽祖信仰と馬娘婚姻譚（平成 29 後）
- ⑪ 「裏日本」文化論 11—白山・山の女神・女人禁制—（平成 30 前）
- ⑫ 「裏日本」文化論 12—白山神社の分布と弾左衛門（平成 30 後）

川崎日香湮（日本画家）

- ① ヌナカワヒメと越後上布（平成 24 前）

義（太鼓演者）

- ① 和太鼓に刻む、打ち込む心（平成 30 後）

岸波敏夫（モンヤ）

- ① 生活と紋（平成 24 前）

北島喜司男（仏壇店経営）

- ① お香のアロマセラピー（平成 27 後）

国見修二（日本詩人クラブ会員）

- ① いま、なぜ瞽女なのか？（平成 25 後）
- ② 「瞽女力入門」・瞽女力への視点（平成 26 前）
- ③ 新潟県内の雁木について（平成 29 後）

頸城野郷土資料室

- ① 映像「信濃姨捨の棚田」（平成 28 後）
- ② 映像「寝屋子—海から生まれた家族（平成 28 後）
- ③ 映像「中国少数民族の伝統芸能」（平成 28 後）

頸城野ドキュメントライブラリー

- ① 映像「新潟国体」(平成 28 後)
- ② 映像「38 豪雪」(平成 28 後)

久米 満 (もと上越市史調査執筆委員)

- ① 藁と生活 (平成 25 後)
- ② 草相撲の話 (その 1) (平成 27 後)
- ③ 僧浄日記より一清里・専福寺 (平成 28 後)

黒木朋興 (上智大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員)

- ① ブルターニュ地方の民族文化 (平成 23 後)

桑野なみ (NPO 法人頸城野郷土資料室理事)

- ① 越後の女流歌人 貞心尼」(平成 25 前)
- ② 石敢當めぐり 1—沖繩編 (平成 29 前)

小池豊一 (高田文化協会特別会員)

- ① 高田藩の鷹匠・鷹狩り 1 (平成 23 前)
- ② 高田藩の鷹匠・鷹狩り 2 (平成 23 後)
- ③ ふるさと歴史探訪 (平成 24 前)
- ④ 古典・文学に見る放鷹 (おゆ) —日本書紀〜 (平成 29 後)
- ⑤ 近世〜現代に見る放鷹—徳川家康〜 (平成 29 後)
- ⑥ 民俗芸能と放鷹—県内伝承〜全国各地 (平成 29 後)
- ⑦ 邦楽「清元」等に見る放鷹 (平成 29 後)

郷堀ヨーゼフ (上越教育大学)

- ① 死者と生者との関係性：洋の東西を跨いで死生観を考える (平成 25 後)

古賀治幸 (立正大学・NPO 法人頸城野郷土資料室理事・学術研究員)

- ① くびき野の近代教育 (平成 22 後)
- ② 直江津物語 1 (平成 23 前)
- ③ 直江津物語 2 (平成 23 後)
- ④ 直江津物語 3 (平成 24 前)
- ⑤ 直江津物語 4 (平成 24 後)
- ⑥ 直江津往還補説 1—街道から近代の国道へ (平成 27 前)
- ⑦ 直江津往還補説 2—高田直江津往来 (平成 27 後)
- ⑧ 直江津往還補説 3 (平成 28 前)

- ⑨ 高田直江津往来—直江津往還補説 4— (平成 28 後)
- ⑩ 高田直江津往来—直江津往還補説 5— (平成 29 前)
- ⑪ 高田直江津往来—直江津往還補説 6—近代の国道と内国通運会社 (平成 29 後)
- ⑫ 直江津往還補説 7 (平成 30 前)
- ⑬ 直江津往還補説 8—近代の道と郵便網 (平成 30 後)
- ⑭ 直江津往還補説 9—頸城の官道と高速道路 (2019 前)
- ⑮ 直江津往還補説 10 (2019 後)
- ⑯ 直江津往還補説⑩：頸城野内往来—在の道 1 (2021 前)

小堺昭一 (レールビの会会長)

- ① スキー発祥の地と一本杖スキー (平成 26 前)

小島正巳 (考古学研究)

- ① 妙高火山の考古学 (平成 23 後)

小関邦秀 (柿崎・大潟海岸をよみがえらせる会)

- ① もう一つの塩の道 (平成 23 前)

小林甚三 (第 2 1 回文芸たかだ・同人賞受賞者)

- ① くじら学校—現在に語りかけるもの (平成 26 前)

小山幸司 (くびき野みんなのテレビ局)

- ① ポッポ屋—機関士物語 (平成 23 後)
- ② 直江津—妙高高原間鉄道小史 (平成 24 前)
- ③ くびき野を映像にのこす (平成 26 後)

小林秋夫 (漁業)

- ① 名立の漁業について (平成 30 前)

小松光代 (安塚民話の会)

- ① ふるさと越後に伝わる民話 (平成 26 前)

近藤紀一郎 (上越マイスター)

- ① 高田のバテンレース (平成 23 前)
- ② 青苧=麻文化 (平成 23 後)

齋藤尚明（陶芸家）

- ① 陶芸（平成 22 後）

坂田 敏（岩の原葡萄園社長）

- ① ワインを醸す（平成 22 後）

佐々木雄二

- ① 紙が語る歴史の証言—戦争と郵便（平成 26 前）
- ② 年賀状アラカルト（平成 26 後）
- ③ 切手から見える世の中（平成 27 前）
- ④ 年賀状・切手アラカルト（平成 27 後）

佐藤哲康（佐藤学習科学研究所長）

- ① なぜ越後に美人が多いか—発酵食品（平成 24 前）

佐藤 慎（妙高市教育委員会）

- ① 斐太遺跡群にみる集落景観（平成 23 後）
- ② 鮫ヶ尾城とその時代（平成 24 前）
- ③ 旧関山宝蔵院と庭園と関山神社の祭礼（平成 25 後）
- ④ 関山神社の菩薩立像（平成 26 後）
- ⑤ 関山神社の社殿再建を支えた高田城下の町人（平成 30 後）

佐藤 仁（しのぶ）

- ① 実業家矢澤綱四郎（平成 29 後）

佐藤正清（NPO 法人頸城野郷土資料室理事）

- ① くびき野観光地めぐり（平成 22 後）
- ② くびき野観光地めぐり親鸞コース（平成 23 前）
- ③ 上越の仏像（平成 23 後）

佐藤幸雄（上越郷土研究会会員）

- ① 板倉区における 2 つの廃村について（平成 24 後）

佐藤喜昭（農業）

- ① よもぎ・もぐさ・お灸(1)（平成 28 前）
- ② よもぎ・もぐさ・お灸(2)（平成 28 前）

篠宮 茂（麩づくり職人）

- ① 麩（ふ）の歴史（平成 27 後）

清水恵一（歴史的建造物修復・保存研究室）

- ① 町家のつくり（平成 22 後）
- ② 京町家と高田の町家（平成 23 前）
- ③ 千家の茶室 1 一茶室の成り立ち（平成 23 後）
- ④ 最近の大地震での住宅の被災事例について（平成 24 前）
- ⑤ 千家の茶室 2 一道安囲いと台目構え（平成 24 後）
- ⑥ 千家の茶室 3 一茶室の見方（平成 25 前）
- ⑦ 高田城と新道地区（平成 25 後）

清水宗翠（茶人）

- ① 表千家・茶の湯をたのしむ（平成 25 後）

清水萬蔵（頸城野大学士）

- ① 真鍋領渡りを阻んだ頸城の農民（平成 24 前）
- ② 近世頸城野の人の信仰の旅（平成 24 後）
- ③ 関山宝蔵院と近隣住民の関係について（平成 25 前）
- ④ 中江用水の特権郡中余荷（よない）（平成 25 後・平成 26 前）
- ⑤ 直江津今町の遊女とその暮らし（1）（平成 27 前）
- ⑥ 直江津今町の遊女とその暮らし（2）（平成 27 後）
- ⑦ 江戸期、直江津今町民騒動二題（1）（平成 29 前）
- ⑧ 江戸期、直江津今町民騒動二題（2）（平成 29 前）

下西隆子（文筆家）

- ① 幕末の庶民の道中日記を読む（平成 27 後）
- ② 幕末の庶民の道中日記を読む2（平成 28 前）

下村省一（もと上越市史編さん室長）

- ① 直江津捕虜収容所事件 1（平成 25 前）
- ② 相馬御風と校歌一直江津小学校校歌ほか（平成 25 後）
- ③ 直江津捕虜収容所事件 2（平成 26 前）

真野純子（歴史民俗学研究者）

- ① 屋敷先祖と供養—西の文化から（平成 23 後）
- ② 祭りと宮座・その 1（平成 24 前）
- ③ 祭りと宮座・その 2（平成 24 後）
- ④ ハレの儀式と室町文化（平成 25 前）
- ⑤ タビの認識—地域をとらえる眼差し（平成 26 前）

真野俊和（もと上越教育大学・くびき野カレッジ天地びと学園長）

- ① 木地屋について—関連ビデオの紹介（平成 22 後）
- ② オーラルヒストリーとライフヒストリー（平成 23 前）
- ③ 四国遍路とは何か—世界遺産のための「普遍的価値」（平成 23 後）
- ④ 劇場宗教論—四国遍路巡拝記の世界（平成 24 前）
- ⑤ 日本仏教のなかの四国遍路（平成 24 後）
- ⑥ 寺町のあるまち（平成 25 前）
- ⑦ 木地屋の移住史（平成 25 後）
- ⑧ 江州木地屋の縁起（平成 26 前）
- ⑨ 木地屋の移住史—糸魚川を中心に（平成 26 後）
- ⑩ 昭和 10 年の西頸城郡—ある DVD より—（平成 27 前）
- ⑪ 近世山伏の道中日記を読む(1)（平成 27 後）
- ⑫ 「私」とは何か (1)（平成 28 前）
- ⑬ 「私」とは何か (2)（平成 28 前）
- ⑭ 近世山伏の道中記を読む(2)（平成 28 前）
- ⑮ 「巨木」の話から「無用の用」まで（平成 28 後）
- ⑯ 小川地蔵縁起をめぐって（平成 28 後）
- ⑰ 近世山伏の道中日記を読む(3)（平成 28 後）
- ⑱ 憑きものの世界（平成 29 前）
- ⑲ 近世山伏の道中日記を読む(4)（平成 29 前）
- ⑳ 近世山伏の道中日記を読む(5)（平成 29 前）
- ㉑ 近世山伏の道中日記を読む(6)（平成 29 後）
- ㉒ 祭りの作劇術(1)（平成 29 後）
- ㉓ 近世山伏の道中日記を読む(7)（平成 29 後）
- ㉔ 祭りの作劇術(2)（平成 30 前）
- ㉕ 近世山伏の道中日記を読む(8)（平成 30 前）
- ㉖ 柳田国男講読ゼミナール(1)（平成 30 前）
- ㉗ 柳田国男講読ゼミナール(2)（平成 30 前）
- ㉘ 近世山伏の道中日記を読む(9)（平成 30 前）
- ㉙ 柳田国男講読ゼミナール(3)（平成 30 後）

- ⑩ 柳田国男講読ゼミナール(4) (平成 30 後)
- ⑪ 柳田国男講読ゼミナール(5) (2019 前)
- ⑫ 柳田国男講読ゼミナール(6) (2019 前)
- ⑬ 柳田国男講読ゼミナール(7) (2021 前)

菅原邦生 (山形工科短期大学校)

- ① 雁木の歴史 1—高田の雁木通り (平成 22 後)
- ② 雁木の歴史 2—雪国の町並み・雁木通りの研究 (平成 23 前)
- ③ 非深雪地域の町家・庇 (平成 24 前)

杉 みき子 (児童文学者)

- ① 平出修と高田 (平成 24 後)
- ② 小川未明と高田 (平成 25 前)

杉山精一 (NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員)

- ① 山椒大夫と夕鶴 (平成 22 後)
- ② 昔話の劇化—『夕鶴』をめぐる (平成 23 前)
- ③ 木下杢太郎—生涯とその戯曲 (平成 23 後)

鈴木栄太郎 (上越市史編纂専門員)

- ① 東海道川崎宿にいた越後の少女 (平成 26 後)
- ② 文書で知る江戸期のくびき野 (平成 27 前)

関由有子 (あわゆき組代表)

- ① 市街地活性化の特効薬 (平成 23 前)

関口秀国 (炭焼き工房正覚庵)

- ① 三和で自然に慣れ親しむ (平成 26 前)
- ② 竹炭と竹酢液 (平成 26 後)

高島忠雄 (久比岐愛刀会)

- ① 郷土の刀工たち (平成 26 後)

高野恒男 (NPO 法人頸城野郷土資料室学術理事)

- ① 麻を織る (平成 22 後)
- ② 麻と暮らし (平成 23 前)

- ③ ひも（縄）と結び（平成 23 後）
- ④ 宮本常一と歩く・見る・聞く 1（平成 24 前）
- ⑤ 宮本常一と歩く・見る・聞く 2（平成 24 後）
- ⑥ 村の秩序と生活統制—村の掟と五人組（平成 25 前）
- ⑦ 飛天—ガンダーラから法隆寺へ（平成 28 前）
- ⑧ 奈良に降りた飛天（平成 28 後）
- ⑨ 小川未明の生地・五分一の名稱について（平成 29 後）
- ⑩ 大津絵のいざない（平成 29 後）
- ⑪ 埴輪からみる古代の化粧と入れ墨（2021 前）
- ⑫ 福井の笏谷石文化を愉しむ（2021 前）

高橋 卓（上越環境科学センター）

- ① くびき野の自然—魚類を主として（平成 24 前）

高橋 勉（妙高市教育委員会）

- ① 高田城復興に関わった江戸瓦職人(1)（平成 30 前）
- ② 高田城復興に関わった江戸瓦職人(2)（平成 30 前）

高橋吉弘（名立・平和を願う日実行委員会委員長）

- ① 名立機雷事件（平成 29 前）

瀧田 寧（日本大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員）

- ① くびき野の外国人ダン（平成 22 後）
- ② エドウィン・ダンの見た日本（平成 23 前）
- ③ ジェームス・ダンとくびき野（平成 23 後）
- ④ エドウィン・ダン研究の現在（平成 24 前）
- ⑤ エドウィン・ダンの子どもたち（平成 24 後）
- ⑥ エドウィン・ダンゆかりの人々（平成 29 前）
- ⑦ エドウィン・ダンゆかりの人々（2）（平成 29 後）

多田 新（多田金）

- ① レコードくびき野史（平成 23 前）

建入定男（高士郷土文化研究家）

- ① わたしたちの高士

長 聡子（新潟工科大学教員）

- ① 雁木の役割—都市型commonsの視点から（平成 27 後）

土田孝雄（もと糸魚川市・妙高市文化財審議会委員）

- ① 糸魚川の祭りと稚児舞楽について（平成 26 前）
- ② 翡翠とヌナカワヒメ（平成 26 後）
- ③ 松本街道と塩の道（平成 27 前）

寺田善男（上越市教育センター）

- ① 日本の運命を担って活躍した外交官芳澤謙吉（平成 27 前）

内藤 隆（もと高校教員）

- ① 頸城野の近代教育（平成 23 前）
- ② 越後騒動と領民所替えについて（平成 24 後）
- ③ 越後騒動と御殿山（平成 25 後）
- ④ 飯の宝陀羅大明神について（平成 27 前）
- ⑤ 上越の椿いろいろ（平成 29 前）

中川卓夫（農家民宿どぶろく荘）

- ① どぶろくで地域おこし（平成 25 後）

中島大住（五ノ辻稻荷神社宮司）

- ① 神棚棚と仏壇に祈る（平成 27 前）

中島秀治（おやど山恵）

- ① 妙高山麓のスキー運動を考える（平成 26 前）
- ② 妙高山麓とレルヒ少佐（平成 27 前）
- ③ 児雷也の話を DVD で楽しむ（平成 29 前）

中島浩貴（東京電機大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員）

- ① 軍都高田とその時代（平成 22 後）
- ② レルヒその後（平成 23 前）

中村宏治（中村十作記念館館長）

- ① 人頭税と中村十作（平成 27 前）

梨本正昭

- ①日本の林業について—メイプルシロップ (2021 後)

梨本 渉 (もと高校教師)

- ① こうして駅伝に勝利した! (平成 27 後)

七澤恭四郎 (新潟県山岳協会参与)

- ① 妙高を愛した人々の記述 (平成 25 前)
- ② 中国登山報告—まぼろしの周田山 (平成 26 前)
- ③ 峠の話—信越県境関田峠 (平成 28 前)

西澤睦郎

- ① 中世近世移行期、越後の渡しと渡し守 (平成 29 後)

西山耕一 (もと県立高校教諭・郷土史家)

- ① 郷土を創った男国友末蔵 (平成 27 前)

二宮正守 (日前神社宮司)

- ① 名立の日前 (ひのくま) 神社 (平成 30 前)

橋本克彦 (衣料のソーハチ経営)

- ① 名立文化あれこれ (平成 28 前)

長谷川和子 (もとフェリス女学院大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員)

- ① くびき野の庶民金融 1 (平成 22 後)
- ② くびき野の庶民金融 2 (平成 23 前)

長谷川 正 (もと高校教員)

- ① くびき野の自然 (平成 22 後)
- ② くびき野の自然—地震にそなえる (平成 23 後)

花ヶ前盛明 (居多神社宮司・頸城野大学士)

- ① 謙信とその時代 (平成 22 後)
- ② 高田開府四百年—松平忠輝と居多神社 (平成 23 後)
- ③ 上杉謙信の義と天下構想 (平成 29 後)

早川雅雄（清里区青柳の星のふるさと館）

- ① 清里の星空―「上越清里星のふるさと館」紹介を兼ねて（平成 24 後）

早津賢二（妙高ほかの火山研究者）

- ① くびき野の自然―妙高山の話（平成 24 後）

平井民夫（桑取川漁業協同組合）

- ① 鮭の一生（平成 26 後）

廣田敏郎（新潟県建築士会・NPO 法人頸城野郷土資料室監事）

- ① くびき野の古民家 1―日本民家のきた道（平成 23 前）
- ② くびき野の古民家 2―近世民家の成立と地域的特色（平成 23 後）
- ③ くびき野の建築家 1―関野貞・克親子と江崎兄弟（平成 24 前）
- ④ くびき野の建築家 2―長野宇平治（平成 24 後）
- ⑤ くびき野の建築家 3―異端の建築家渡邊洋治（平成 25 前）
- ⑥ 林芙美子邸と建築家（平成 25 後）
- ⑦ 日本の近代建築 1―上越の近代建築物語（平成 26 前）
- ⑧ くびき野の建築家 4 建築家西田勇（平成 26 後）
- ⑨ 大工について（平成 27 前）
- ⑩ 建築大工について（2）規矩と名立大工（平成 27 前）
- ⑪ 名立大工と規矩術：建築大工について（3）（平成 28 前）
- ⑫ 神社建築について（平成 28 後）
- ⑬ 神社と建築について（平成 29 前）
- ⑭ 寺院建築について(1)（平成 29 後）
- ⑮ 寺院建築について(2)（平成 30 前）
- ⑯ 寺院建築について(3)（平成 30 前）
- ⑰ 寺院建築について(4)（平成 30 前）
- ⑱ 建築史家伊東忠太（平成 30 後）
- ⑲ 日本の近代建築の歴史（1）（平成 30 後）
- ⑳ 日本の近代建築の歴史(2)（2019 前）
- ㉑日本の近代建築の歴史 3：明治天皇北陸巡行と建築（2020 後）
- ㉒ 昭和・平成時代を振り返る：地震と水害地の災害（2020 後）
- ㉓ 日本の近代建築の歴史 4：第十三師団施設と現在（2020 後）
- ㉔ 前島密と通信・郵政建築（2021 前）

藤井健治（武蔵野酒造職人）

- ① 越後杜氏 1 (平成 22 後)
- ② 越後杜氏 2 (平成 23 前)

藤田 剛 (藻類研究者)

- ① 生活の中のケイソウドーケイソウドとは何か (平成 26 後)
- ② 上越地区の活断層1 (平成 27 前)
- ③ 上越地区の活断層2 (平成 27 前)

藤野正二 (NPO 法人頸城野ドキュメントライブラリー理事長)

- ① 立憲君主制だったネパールー映像を交えて (平成 28 後)
- ② 共和制になった近代のネパールー映像を交えて (平成 28 後)

二羽雅史 (NPO 法人かみえちご山里ファン倶楽部)

- ① 炭を焼く (平成 22 後)

船崎正保 (船橋鍛冶屋)

- ① 鍛冶屋 (平成 22 後)

舟見俊二 (版画家)

- ① 高田偕行社物語り 1 (平成 24 前)
- ② 高田偕行社物語り 2 (平成 24 後)

保坂いよ子 (高土地区婦人会)

- ① 高土地区のとうどよび (平成 27 前)

星野正彦 (宇津尾町内会長)

- ① 宇津尾の移り変わり (平成 30 前)

細谷 一 (清里星のふるさと館長)

- ① 古代の万能コンピュータ：日時計 (平成 25 前)
- ② ガリレオ・ガリレイの見た宇宙 (平成 25 後)
- ③ 宇宙 137 億年の旅—地球を出発して宇宙の果てまで (平成 26 前)

米田祐介 (立正大学・NPO 法人頸城野郷土資料室学術研究員)

- ① 心を旅する小川未明 (平成 22 後)
- ② 小川未明とその時代 1 (平成 23 前)

- ③ 小川未明とその時代2（平成23後）
- ④ 作家三浦哲郎とふるさと八戸（平成24前）
- ⑤ 小川未明とその時代3（平成25前）

松尾恒一（国立歴史民俗博物館教授）

- ① 中近世における、中国・ヨーロッパとの交易—日本を仏教国にしたキリスト教—（2019前）
- ②

松岡敏宣（高田木材組合長、松岡材木店経営）

- ① 木材（製材業を中心として）今昔（平成29前）
- ② 材木店の今昔（平成30後）

宮越光昭（和菓子大杉屋）

- ① 飴屋（平成22後）
- ② 濱谷 浩 の思い出（平成27後）

村山好明（ネオ昭和（からむし振興）社長）

- ① からむし紀行（平成23前）

村山和夫（頸城野郷土資料室顧問・頸城野博士）

- ① 軍都高田の相形（平成22後）
- ② くびき野文人論客往来1（平成23前）
- ③ 勝海舟・川上善兵衛ほか（平成23後）
- ④ 岡倉天心・尾崎紅葉ほか（平成24前）
- ⑤ 頸城にとどまった会津藩士（平成25前）
- ⑥ 麦倉助太郎と長州征討ほか（平成25後）
- ⑦ 小林古徑—幼年期の確認と検討（平成26前）

森本 昇（陶芸家）

- ① 陶芸（平成23前）

山崎鐵男（頸城地方の草相撲研究）

- ① 1市3郡草相撲の歴史（平成26後）

山田彩加（NPO法人頸城野郷土資料室学術研究員）

- ① 外国語の詩の和訳と朗読（平成 28 前）
- ② NPO という居場所（平成 28 後）
- ③ 身近な NPO 活動を知る（平成 29 前）
- ④ 居場所・拠り所としての『知』（平成 30 後）

山田 修（ぬなかわヒスイ工房）

- ① 縄文カヌーで三内丸山へ（平成 27 後）
- ② 魔除けあれこれ（平成 28 前）

山本 明（日本野鳥の会・くびき野学士）

- ① くびき野の自然―鳥類を主として 1（平成 23 前）
- ② くびき野の自然―鳥類を主として 2（平成 23 後）
- ③ くびき野の自然―鳥類を主として 3（平成 24 前）

山本幸俊（上越市総務監理部文書法務課）

- ① 古文書の整理手順（平成 23 前）
- ② くびき野の近世文書（平成 23 後）

湯本泰隆（ながおか史遊塾）

- ① ワークショップ「まわしよみ新聞をつくろう in KFA」（2019 前）
- ② 地名研究の“今” ―長岡地域の地名・上越地域の地名（2020 前）

横尾彰平

- ① 三郷地区の歴史について（平成 30 前）

横山真一（新潟県立高校教諭）

- ① 青年民権運動と高田事件（平成 24 後）
- ② 赤井景韶の生涯（平成 25 前）

吉田隆雄

- ① 石油・天然ガスの採掘（平成 30 前）

和瀬田仙二（NPO 法人かみえちご山里ファン倶楽部理事長）

- ① 桑取の今昔（平成 28 前）

渡邊三四一（柏崎市立総合博物館学芸員）

① 近世犀浜の風土と暮らし（平成 22 後）

② 北国街道と浜下駄（平成 23 前）